

教育課題連絡会議

重点（2）道徳教育の充実

お手元に御準備ください。

- ◆スライド資料
- ◆R7「下北の教育」（案）

1

★令和6年度の力点（特に力点を置いて取り組んでいただきたい実践事項）

- 2 「考え、議論する道徳」の授業を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる指導の工夫

★教師の指導の意図に基づいたねらいに迫る中心発問と、中心発問を深めていくための問い返しや揺さぶりの発問を工夫する。



道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、自己の（人間としての）生き方についての考えを深める学習の実現

2

「考え、議論する道徳」の授業づくりに向けて

道徳教育アーカイブ ～「特別の教科 道徳」の全面実施～

文部科学省では、「特別の教科 道徳」の趣旨の実現を図るため、「考え、議論する道徳」の授業づくりの参考となる映像資料等を提供し、学校の取組を全力で支援します。

「道徳教育アーカイブ」で紹介する事例はいずれも一つの工夫の例であり、これらを参考にしつつも、これらにとらわれることなく、**各学校の児童生徒の実態に応じて、多様な創意工夫を生かした授業づくりを進めることこそが重要**です。



(文部科学省>教育>小学校・中学校・高等学校>道徳教育>道徳教育アーカイブ専用サイト)

3

令和7年度の実践事項

- 1 道徳教育を推進する指導体制と全体計画の整備・充実
→指導体制の整備、全体計画の作成、**重点内容項目の設定**
道徳教育の改善・充実
- 2 「考え、議論する道徳」の授業を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる指導の工夫
→**年間指導計画の作成**、授業構想、指導の工夫
- 3 **道徳科における学習状況及び道徳性に係る成長の様子**の継続的な把握と、**評価を生かした指導の工夫**
→組織的・計画的な評価、道徳科における評価
- 4 郷土を愛する心を育む指導の充実
→家庭や地域社会との連携・協力、地域教材の活用

4

★令和7年度の力点（特に力点を置いて取り組んでいただきたい実践事項）

2 「考え、議論する道徳」の授業を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる指導の工夫

★児童生徒や学校の実態に応じて、重点内容項目を複数回位置付けた年間指導計画を作成し、評価・改善を図る。

（学校独自の重点内容項目や）児童生徒の実態や多様な指導方法を考慮して、学年ごとに主題を構成し、この主題を年間にわたって適切に位置付け、配列し、学習指導過程等を示すなど授業を円滑に行うことができるように示したものである。

出典：小・中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編 小p72～73 中p70

※（ ）は中学校解説に記載



令和7年度の力点のポイント

★児童生徒や学校の実態に応じて、重点内容項目を複数回位置付けた年間指導計画を作成し、評価・改善を図る。

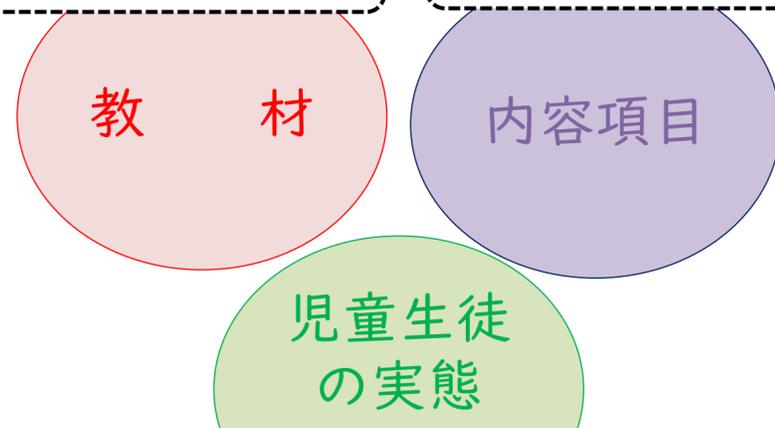
重点内容項目（B礼儀 C規則の尊重）

学期	月	週	回	主題名	内容項目	教材名 (教科書以外の出典)	備考
1 学期	4 月	1	1	1日の始まり	B 礼儀	〇〇〇〇〇	
		2	2	安全な生活	A 節度、節制	〇〇〇〇〇	
		3	3	きまりは何のために	C 規則の尊重	〇〇〇〇〇	
	5 月	1	4	権利と義務	C 規則の尊重	〇〇〇〇〇 〈「郷土資料集」〇〇教委〉	
		2	5	自他の生命の尊重	D 生命の尊さ	〇〇〇〇〇 〈「私たちの道徳」文科省〉	
		3	6	まごころの形	B 礼儀	〇〇〇〇〇	
		4	7	長所と短所	A 個性の伸長	〇〇〇〇〇	

令和7年度の力点のポイント

①年間指導計画を見て、その時期に扱う教材を確認する。

②その教材で学ぶ内容項目を年間指導計画を見て確認する。



③児童生徒の実態を把握し、道徳科の授業のねらいを明確にする。

年間指導計画は、全ての内容項目を確実に指導し、児童生徒の実態に応じた道徳科の授業を行うための大切な指導計画

令和7年度の力点のポイント

★児童生徒や学校の実態に応じて、重点内容項目を複数回位置付けた年間指導計画を作成し、評価・改善を図る。

令和3年度道徳教育実施状況調査から

【設問4】道徳科の年間指導計画を活用しやすいものとするための工夫

7. 年間指導計画の評価と改善を計画的に行った

小学校…24.3%、中学校…21.3%

年間指導計画に基づく授業が一層効果的に行われるためには、授業実施の反省に基づき、上記により生じた検討課題を踏まえながら、全教師の共通理解の下に、年間指導計画の評価と改善を行うことが必要

出典：小・中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編 小p77 中p75

令和7年度の力点のポイント

授業実施上の課題を評価欄に記入する

検討するための資料の収集を心掛ける

(例) 2 学年年間指導計画 (主題等一覧表)

月		教材名	内容項目	主題名	他教科との関連	評価欄
4	1	大きくなったね	D 生命の尊さ	生きて いる	生活	<u>変更点やその理由、授業後に気付いたことや改善点を記入するなどして、次年度の年間指導計画見直しの際に参考資料として活用する。</u>
	2	金のおの	A 正直、誠実	正直な 心		
	3	本がかりさんががんばっているね	C 勤労、公共の精神	すすんで はたらく	生活特活 (学級活動)	
5	4	ぼんたと かんた	A 善悪の判断、自律、自由と責任	自分できめる		
	5	ありがとうって言われたよ	B 親切、思いやり	やさしい気持ち	生活	
	6	ーりん車	C 規則の尊重	みんなでつかうためには		
6	7	がまんできなくて	A 節度、節制	もう少しだけ	生活	

令和7年度の実践事項 柱3

3 道徳科における学習状況及び道徳性に係る成長の様子の継続的な把握と、評価を生かした指導の工夫

- ・全教職員の共通理解による組織的・計画的な評価の推進に努める。

評価のために集める資料や評価方法の明確化

評価方法について教師間での検討、評価の視点などについての共通理解

評価に関する実践事例の蓄積と共有

年間指導計画に基づく授業が一層効果的に行われるためには、授業実施の反省に基づき、上記により生じた検討課題を踏まえながら、全教師の共通理解の下に、年間指導計画の評価と改善を行うことが必要

出典：小・中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編 小p77 中p75